



The Muramatsu
flute

since 1923

継

ムラマツフルート 100周年記念誌

100年の歩み

往

KEIOU KAIRAI

開

来

株式会社 村松フルート製作所

私は音楽を愛し、音楽を純粹に楽しむ人の為によくの楽器を作つて贈ろうと考えた。私の力に依つて一人の人の人生を楽しく、数千人の人を楽しくさせることが出来たらそれは私が芸術に志した目的に一致する。

◇◇◇

笛を持つ人は持たない人より、どれ程幸福な事か。少なくとも笛の中に息を吹込んでゐる時間だけは其の人は幸福だと考へる。七千本の笛の中、戦災で灰になつたもの、押入れの片隅にホーリ込まれたもの、それ等を差引いても千本の笛は人の心を慰めてゐる事だらう。人の世を楽しく、美しくしているだらう。

◇◇◇

フリユートに関する全ての楽譜も楽書もレコードも揃えなくてはならない。科学的実験設備も整え、村松のところ[へ]行けば何んでも解決出来るようにしなくてはならない。それが任務である。

◇◇◇

既に私の貧乏はテレビやラジオ、或は新聞、雑誌等で紹介されて、今では公認の形である。私の後に続く楽器作りの諸君のために「私の[雑然さの]真似をしては不可ない」と注意しておく次第である。「整然」と仕事を進めてくれ給え。

◇◇◇

残念ながら私の製産能力は、日本の国内向けすら間に合わない状態ですし、一本一本私が精神こめて仕上げしている方針ですから、大量製産して品質が落ちたりしても困りますので当分は見合わせと致しております。何と言つても、よい楽器を作るのが私の理想信念ですから、数を多く作ることはどうもむつかしいことになります。

村松 孝一